



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月2日

上場会社名 国際チャート株式会社
 コード番号 3956 URL <http://www.kcp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理統括部 部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 中之庄 幸三
 (氏名) 橋本 直人
 TEL 048-728-8169

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	858	12.5	67	60.6	67	61.6	47	67.1
2021年3月期第1四半期	980	12.1	42	21.0	42	40.1	28	5.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	7.99	
2021年3月期第1四半期	4.78	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,597	1,920	53.4
2021年3月期	3,642	1,885	51.8

(参考)自己資本 2022年3月期第1四半期 1,920百万円 2021年3月期 1,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		2.00		2.00	4.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		2.00		2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	12.9	50	34.2	50	39.6	35	1.4	5.83
通期	3,400	10.2	150	2.0	150	1.4	100	10.4	16.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	6,000,000 株	2021年3月期	6,000,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	60 株	2021年3月期	60 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	5,999,940 株	2021年3月期1Q	5,999,940 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により一部地域で緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の延長・対象地域の追加など、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当社は、引き続き在宅勤務や各種感染拡大防止対策を実施し、事業活動を運営してまいりました。営業活動においては、訪問制限などもあり依然として厳しい状況でありました。生産面では内製化促進や原価低減に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は858百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益は67百万円（前年同四半期比60.6%増）、経常利益は67百万円（前年同四半期比61.6%増）、四半期純利益は47百万円（前年同四半期比67.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ24百万円減少し2,007百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の回収により201百万円減少し、現金及び預金が177百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ21百万円減少し1,589百万円となりました。これは主に有形固定資産が18百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ45百万円減少し3,597百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ65百万円減少し982百万円となりました。これは主に賞与引当金の積み立てが進み、支給期間の満了に伴いその他に振り替えたことなどにより、流動負債のその他が51百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が99百万円、賞与引当金が27百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15百万円減少し694百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ80百万円減少し1,677百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ35百万円増加し1,920百万円となりました。これは主に利益剰余金が35百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.4%（前事業年度末は51.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月7日付の決算短信で公表いたしました第2四半期（累計）及び通期の業績予想値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,109	602,845
受取手形及び売掛金	1,348,645	1,147,457
商品及び製品	134,724	132,563
仕掛品	10,337	14,572
原材料	55,402	51,481
関係会社短期貸付金	50,000	50,000
その他	9,035	10,120
貸倒引当金	△1,253	△1,047
流動資産合計	2,032,001	2,007,993
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,517,021	1,517,021
減価償却累計額	△1,142,760	△1,148,601
建物(純額)	374,261	368,420
構築物	124,538	124,538
減価償却累計額	△100,096	△100,523
構築物(純額)	24,441	24,014
機械及び装置	1,786,809	1,788,532
減価償却累計額	△1,561,464	△1,571,970
機械及び装置(純額)	225,345	216,561
車両運搬具	4,347	4,347
減価償却累計額	△4,090	△4,111
車両運搬具(純額)	257	236
工具、器具及び備品	288,382	288,382
減価償却累計額	△248,895	△251,663
工具、器具及び備品(純額)	39,486	36,718
土地	881,366	881,366
建設仮勘定	1,072	319
有形固定資産合計	1,546,230	1,527,637
無形固定資産		
ソフトウェア	20,734	19,158
その他	2,556	2,556
無形固定資産合計	23,290	21,714
投資その他の資産		
投資有価証券	40,992	40,098
その他	1,955	1,955
貸倒引当金	△1,708	△1,708
投資その他の資産合計	41,239	40,346
固定資産合計	1,610,761	1,589,698
資産合計	3,642,762	3,597,691

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	872,647	773,071
1年内返済予定の長期借入金	13,332	13,332
未払法人税等	21,117	32,046
賞与引当金	27,844	—
その他	112,739	163,971
流動負債合計	1,047,680	982,421
固定負債		
長期借入金	43,891	40,558
繰延税金負債	197,544	188,542
退職給付引当金	436,741	433,993
その他	31,640	31,640
固定負債合計	709,816	694,733
負債合計	1,757,497	1,677,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,800	376,800
資本剰余金	195,260	195,260
利益剰余金	1,298,434	1,334,356
自己株式	△29	△29
株主資本合計	1,870,465	1,906,387
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,800	14,149
評価・換算差額等合計	14,800	14,149
純資産合計	1,885,265	1,920,537
負債純資産合計	3,642,762	3,597,691

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	980,296	858,234
売上原価	757,246	615,405
売上総利益	223,050	242,828
販売費及び一般管理費	180,885	175,132
営業利益	42,164	67,696
営業外収益		
受取利息	296	28
受取配当金	193	193
受取手数料	132	117
為替差益	—	114
その他	15	76
営業外収益合計	638	530
営業外費用		
固定資産処分損	0	—
為替差損	510	—
その他	255	314
営業外費用合計	766	314
経常利益	42,037	67,912
税引前四半期純利益	42,037	67,912
法人税、住民税及び事業税	11,165	28,722
法人税等調整額	2,199	△8,731
法人税等合計	13,364	19,991
四半期純利益	28,672	47,921

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

・収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、代理店向けの報奨金について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ1,448千円減少しておりますが、損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高及び1株当たり情報に対する影響もありません。

・時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。